

## 株式会社 4°Cホールディングス

YONDOSHI HOLDINGS INC.

2022年1月6日

(証券コード: 8008、東証一部)

### 2022年2月期第3四半期決算概要

- ・ 連結業績は、緊急事態宣言の長期化等により、売上高、営業利益ともに前年同期を下回る推移。
- ・ ジュエリー事業は、10月の緊急事態宣言解除以降、ファッションジュエリーの売上は回復傾向。
- ・ アパレル事業、「パレット」の8店舗の新規出店や既存店の伸長により好調に推移、アパレルメーカーは商品企画力の強化に注力。
- ・ クリスマス商戦の結果を踏まえ、2022年2月期の通期連結業績予想を修正。
- ・ 年間配当金は2円増配の83円、11期連続増配の予定から変更なし。

株式会社4°Cホールディングス（本社：東京都品川区、代表取締役会長・CEO 木村祭氏）はこの度、2022年2月期第3四半期決算（2021年3月1日から2021年11月30日まで）を発表いたしましたので、概略のご報告をいたします。

#### 1) 連結業績概況

(百万円、%)	2021年2月期 第3四半期	2022年2月期 第3四半期	前年同期比
売上高	28,323	27,323	△3.5%
営業利益	1,874	695	△62.9%
経常利益	2,210	1,169	△47.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,188	600	△49.5%

1株当たり四半期純利益 28円04銭（前年同期 54円80銭）

期中平均株式数（連結） 21,428,376株

のれん償却前営業利益 2022年2月期第3四半期 1,068百万円（前年同期 2,246百万円）

流通業界は、外出自粛要請や、店舗の休業・時間短縮営業の影響を受けたことに加え、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除後も雇用・所得環境は改善されず、消費者マインドが更に冷え込んだことから、個人消費は低迷しており、先行き不透明な状況が続いています。このような状況のなか、当社グループは、第6次中期経営計画初年度となる2021年度において、企業価値の向上を目指し、事業ごとの重点課題に取り組んでまいりました。

本社：東京都品川区上大崎二丁目19番10号  
設立：1950年5月  
資本金：24億8,652万円  
事業内容：ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業、小売事業  
ウェブサイト：<https://yondoshi.co.jp/>  
問い合わせ先：(株)4°Cホールディングス 財務部  
TEL 03-5719-3295 FAX 03-5719-3296  
e-mail [ir-yondoshi@yondoshi.co.jp](mailto:ir-yondoshi@yondoshi.co.jp)

その結果、当第3四半期の売上高は273億23百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益は6億95百万円（前年同期比62.9%減）、経常利益は11億69百万円（前年同期比47.1%減）、四半期純利益は6億円（前年同期比49.5%減）となりました。

#### ■ジュエリー事業

売上高 121億31百万円（前年同期比12.3%減）

営業利益 1億16百万円（前年同期比90.5%減）

ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の長期化の影響を受けたことから厳しい経営環境となりました。10月の緊急事態宣言解除以降、ファッションジュエリーの売上は回復傾向にありますが、ブライダルジュエリーの回復に時間を要しています。また、前年同期に一部特別損失に計上していた人件費の反動増もあり、営業利益が大幅に減少しました。

#### ■アパレル事業

売上高 151億92百万円（前年同期比4.8%増）

営業利益 8億72百万円（前年同期比6.2%減）

デイリーファッション「パレット」を展開する㈱アージュは、8店舗の新規出店に加え、販促活動や25周年記念催事が奏功したことにより、売上高、営業利益ともに過去最高を更新しました。

アスティグループは、コロナ禍の影響による一時的な需要の低迷はあるものの、商品企画力の強化に引き続き取り組んでまいりました。

## 2) 通期の連結業績見通し

(百万円、%)	2021年2月期 (実績)	2022年2月期 (前回発表)	2022年2月期 (修正予想)	前回発表 予想比	前期比
売上高	39,449	40,500	38,300	△5.4%	△2.9%
営業利益	2,767	2,800	1,700	△39.3%	△38.6%
経常利益	3,195	3,300	2,250	△31.8%	△29.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,622	2,200	1,400	△36.4%	△13.7%

1株当たり予想当期純利益（通期）65円33銭  
期中平均株式数（連結）21,428,376株  
のれん償却前EPS 88円50銭

2021年7月7日に公表しました2022年2月期の通期連結業績予想につきましては、特に主力のジュエリー事業において、国内の新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことにより行動制限が緩和され、国内消費が徐々に回復に向かうことを想定しております。

しかしながら、出会いの場や機会が失われたことから男性のギフト需要やブライダルジュエリーは一時的に縮小しており、最大需要期であるクリスマス商戦の売上高は計画を下回る結果となりました。この状況を踏まえ、通期連結業績につきまして、前回発表時の予想を上記のとおり修正いたします。

なお、ブランド価値向上に向けた各施策への取り組みについては、耳周り商材をはじめ

本 社： 東京都品川区上大崎二丁目19番10号  
 設 立： 1950年5月  
 資 本 金： 24億8,652万円  
 事 業 内 容： ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業、小売事業  
 ウェブサイト： <https://yondoshi.co.jp/>  
 問い合わせ先： (株)4°Cホールディングス 財務部  
 TEL 03-5719-3295 FAX 03-5719-3296  
 e-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

めとした女性の自家需要が堅調に推移する等、一定の成果を上げております。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

### 3) 当期の配当

年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 期	—	40.50	—	40.50	81.00
当 期	—	41.50	—		
当 期 (予想)				41.50	83.00

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、利益配分に関する基本方針として安定的・継続的な配当と、機動的な自己株式の取得を実施すること等による利益還元の水準向上を掲げております。そして、将来における1株当たり年間配当100円の達成を中長期的な目標に掲げております。

また、還元方針である安定配当を図る指標として株主資本配当率(DOE)を採用し、株主資本配当率(DOE)4%以上を目標に設定しております。

2022年2月期配当予想については、コロナ禍の業績影響はあくまで一時的であることから、中間、期末ともに41円50銭の年間83円を変更せず、引き続き11期連続増配を予定しております。

以上

本 社 : 東京都品川区上大崎二丁目19番10号  
設 立 : 1950年5月  
資 本 金 : 24億8,652万円  
事 業 内 容 : ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業、小売事業  
ウェブ サイト : <https://yondoshi.co.jp/>  
問 い 合 わ せ 先 : (株)4°Cホールディングス 財務部  
TEL 03-5719-3295 FAX 03-5719-3296  
e-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp